

骨粗しょう症検診の予約を開始します

対象者／昭和24年4月～平成12年3月生まれで、市内に住民登録のある女性
内容／超音波検査による骨密度測定

検診料／300円(土浦市国民健康保険加入者および70歳の方は無料)

申込方法／11月1日(金)から、土浦市保健センター、市役所、各支所・出張所、各地区公民館、アルカス土浦、子育て支援センター、子育て交流サロンで配布する「専用の申込はがき」に必要事項を記入し郵送(切手不要)、または市ホームページから

申込期間／11月1日(金)～15日(金)(はがきは当日消印有効)



胃がんリスク検査

対象者／平成31年4月1日から令和2年3月31日までに40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳を迎える市民で、これまでに胃がんリスク検査を受けたことがない方

※ピロリ菌除菌治療を受けた方、食道・胃・十二指腸の病気で治療または経過観察中の方、胃を切除した方、腎不全の方、胃酸の分泌を抑える薬を服用中または服用終了後2か月未満の方は除く。

検査料／1000円(生活保護受給者は無料)

検査内容／協力医療機関で血液検査

申し込み／①土浦市保健センター、市民課、各支所・出張所へ直接、②電話、③市ホームページから

検査期間／令和2年3月31日まで

風しん抗体検査・予防接種を受けましょう

対象者／昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

※対象者には風しんクーポン券を発送済みです。来年度対象者となる、昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性で、検査を早めたい方はご連絡ください。

接種方法／風しんクーポン券と本人確認書類を持参し協力医療機関へ

内容／血液検査による風しん抗体検査を受け、抗体不十分と判定された場合は予防接種

骨髄バンクへの登録・臓器提供に関する意思表示にご協力ください

骨髄バンクや臓器提供は、提供する方がいて初めて成り立ちます。ドナー登録や臓器提供に関する意思表示をすることで、助かる命があります。一人でも多くの患者さんを救うためには、多くの方のご理解、ご協力が必要です。ドナー登録については日本骨髄バンク(☎03-5280-1789)、臓器提供については日本臓器移植ネットワーク(☎0120-78-1069)へお問い合わせください。

なお、市では、日本骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供した方に対する助成事業を実施しています。対象条件など、詳しくは市ホームページをご確認ください。



11月の献血

日時／11月15日(金) 10:00～11:45、13:00～16:00

場所／イオンモール土浦(専門店北入口)

健康教室

脳卒中(脳血管障害)について

土浦市医師会
塚田篤郎(県南病院)

日本人の死亡原因を見ると、1位はがん、2位は心疾患、そして3位が脳卒中で(4位の肺炎と入れ替わった)、脳卒中は命に関わるだけでなく、罹患すると寝たきりとなることも多いのが問題です。脳卒中とは脳が原因で突然倒れるという意味で、脳血管障害とは同義語です。予防医学や医療の進歩、食生活の変化などにより脳卒中の内容も変化しています。ここでは脳卒中の基礎や対処法について述べます。

脳卒中は出血性疾患と、血流が足りなくなる虚血性疾患に大別されます。前者にはくも膜下出血と脳出血があり、後者にはTIA(一過性脳虚血発作)と脳梗塞があり、さらに、ラクナ梗塞・アテローム性梗塞・脳塞栓(心原性塞栓)に分けられます。脳は解剖学的に複雑で機能も多岐に渡っており、非常に難しいので、ここでは典型的な症状と対処法について要点のみ述べます。

①くも膜下出血は脳動脈瘤の破裂で起こり、経験したことのないような突然の頭痛と嘔吐が多く、運動麻痺

はありません。重症であれば意識障害をとまいません。手術治療を要しますので、直ちに脳外科を受診するか救急車を呼んでください。

②脳出血は頭痛、嘔吐、運動麻痺、感覚障害、意識障害などにて発症し、高血圧があることが多く見られます。症状が強ければ救急車を呼んでください。

③ラクナ梗塞・アテローム性梗塞は頭痛がなく、突然の運動麻痺、感覚障害で発症します。速やかに脳外科・神経内科での受診をお勧めします。

④脳塞栓(心原性塞栓)が最近増えている問題の疾患です。③と同様に突然の運動麻痺で発症しますが、大血管が突然閉塞するため(急性主幹脳動脈閉塞)、より重症で、意識障害や共同偏視(両眼が同じ方向を向く)などを合併することが多い疾患です。心房細動などの不整脈による心内血栓が飛んで起こります。血栓溶解療法やカテーテルによる血栓回収術の適応があり、速やかに専門病院での受診が必要です。